

名古屋教職課程センター室の紹介

岡田圭二（経済学部准教授）

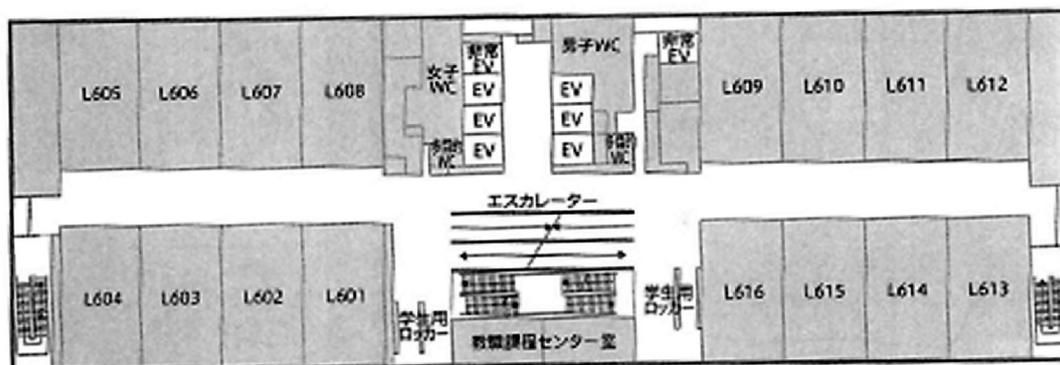
愛知大学名古屋校舎においても、豊橋校舎と同じく、教職課程センターが設置された。教職課程センターの機能・役割として①養成（教員免許取得を中心とする）、②連携（教育委員会や中学・高等学校との連携）、③研修（教員免許状更新講習の企画・運営など）などに取り組んでいる

またセンター室は、①図書、資料の整備、②教員養成、採用に関わる資料の収集、③教職に関する相談、④、卒業生名簿の作成、連携などに取り組んでいる。その実例として、内外教育、教育新聞などを購読し、それらを学生に提供している（表1参照）。

また利用可能な用具等としてパーソナル・コンピュータが2台、ピアノが1台を設置してある。開室は、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までである。施設の俯瞰図は、図1の通りであり、図2に室内の様子を写した写真を掲載した。

表1. 閲覧可能な新聞、雑誌、各種資料の一覧表（2012年11月5日調べ）

内外教育（時事通信社）
教育新聞（教育新聞社）
各都道府県の過去問
教育実習の記録
（過去の学生の体験記、報告書）
小学校、中学校、高等学校の教科書、および問題集
小学校、中学校の学習指導要領、および解説
雑誌「教職課程」
雑誌「教員養成セミナー」



注. 図中央の下部に教職課程センター室の記載有り。中央部分で2つの部屋に仕切っている。左の部屋は学生が主に利用する。右の部屋は事務室となっている。この図1は、名古屋校舎のフロアガイド・パンフレットより転載した。

図1. 名古屋校舎講義棟6階 名古屋教職課程センター室配置図 (2012年11月現在)



注. 左側にパソコン2台、正面奥にピアノ、右側に定期刊行物、教科書等の棚が見える。

図2. 名古屋教職課程センター室内 (図2の左側の部屋 (学生が主に利用する部屋))